



1982年【第1回】三留 理男



1983年【第2回】内藤 正敏



1987年【第6回】管 洋志



1984年【第3回】野町 和嘉



1985年【第4回】江成 常夫



1986年【第5回】新正 卓

2010年1月20日(水) — 4月4日(日)

# 土門拳と 土門拳賞受賞 作品展

会場◎土門拳記念館

開館時間◎午前9時～午後4時30分

入館料◎一般 420円(360円) 学生 210円(150円)

小中 100円(80円) [土・日、小・中は無料]

※( )内は団体料金(20名以上)

休館日◎月曜日(3/22は開館、23は休館) / 4月より無休

【特別企画】

受賞作家によるギャラリートーク [要電話予約]

2月27日(土) 午後2時～ 野町和嘉(第3回受賞)

3月21日(日) 午後2時～ 江成常夫(第4回受賞)

同時開催

2010/1/20(水)

↓  
3/20(土)

土門拳  
筑豊のこどもたち



Ken Domon Museum of Photography

## 土門拳記念館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山二丁目13番地(飯森山公園内)  
TEL・FAX0234-31-0028 <http://www.domonken-kinenkan.jp/>

## 土門拳と土門拳賞受賞作品展



Ken Domon

土門拳賞は、リアリズム写真を確立した巨匠・土門拳の業績をたたえ、1981年（昭和56年）に毎日新聞社により設立された、国内でも有数の権威のある写真賞です。毎年1月から12月までの間に作品（写真集、展覧会など）を発表し、優れた成果をあげた中堅の写真家が受賞の対象となり、その受賞作品は土門拳記念

館にパーマネントコレクションされることになっています。

今回の展示では、その土門拳賞第1回から第6回までの受賞作品のセレクションと受賞作家たちを、土門拳の代表作品とともにご紹介いたします。

なお、この企画はシリーズとして今後も毎年開催される予定です。

### 1982【第1回】三留 理男

「ケニア飢餓前線」「アコロ」「国境を越えた子供たち」など第三世界の国境線上の人たちを取材、発表した一連の作品に対して受賞。



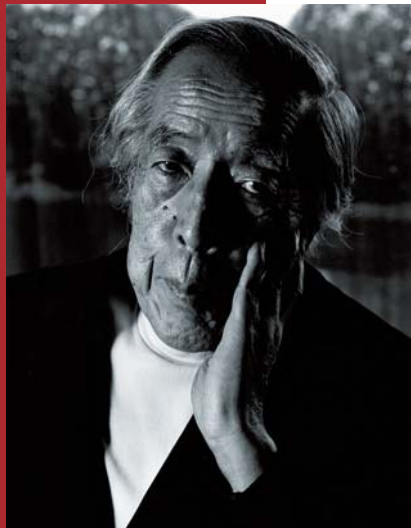
### 1983【第2回】内藤 正敏

「出羽三山と修験」を代表とする日本の民間信仰への写真活動に対して受賞。



### 1987【第6回】管 洋志

「バリ・超夢幻界」をはじめとするアジアの民俗的写真取材に対して受賞。



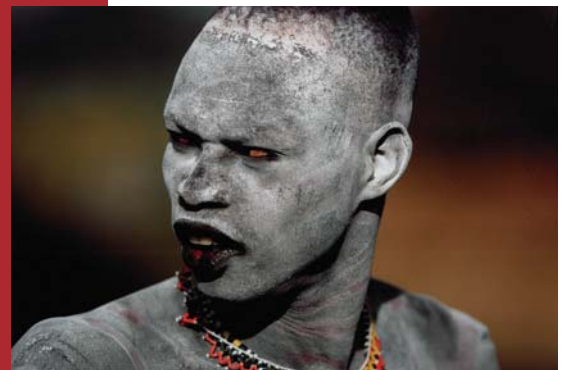
### 1985【第4回】江成 常夫

「シャオハイの満州」に結実したドキュメントと「百肖像」に見られる粘り強い写真活動に対して受賞。



### 1986【第5回】新正 卓

「遥かなる祖国」において日本の南米移民一世を大型カメラで丹念にとらえた成果に対して受賞。



### 1984【第3回】野町 和嘉

「バハル」「サハラ砂漠」に見られるスケールの広く大きく深い視点に対して受賞。